

2013年
 11月


10月、副理事長がフィリピンを訪れた時の様子！（フィリピン孤児院）

特定非営利活動法人 礎の石孤児院理事長

北野 直人

皆さんの心からの御支援、いつもありがとうございます。

先月のニュースレターでも少しお話ししましたが、ザンビア孤児院を取り上げた番組が放映される予定です。このニュースレターを執筆している段階では、まだ日時は未定とのことですが、このニュースレターが皆様のお手元に届くころには、放映されているかもしれません。できればこれを機会に、少しでも多くの方々に孤児院の働きを知っていただければと願っております。お話が変わりますが、私ども孤児院の働きにおける必要は増すばかりであります。会計の方は相変わらず厳しい状況が続いております。前号の緊急のお願いなどによって、皆様からは、様々な御支援を賜り、本当に感謝を申し上げますと共に、さらに続いて御協力をお願いできればと思います。筆を取っております。皆様の御支援、サポート、心から感謝致します。何卒、これからもよろしくお願い申し上げます。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。9月後半に孤児院訪問ツアーとして木原副理事長さんと共に9名の皆さんが来て下さいました。子どもたちは、新学期前の休みの期間中だったので、皆さんとたっぷり時間を取って遊んで頂く事が出来ました。また今回は、皆さんと一緒に車で片道4間ほど離れた場所にある海まで海水浴に行く事が出来ました。これは、ずっと願っていた事でしたので、



副理事長とツアーメンバーと子どもたち！

皆さんのご協力の元を実現し大変感謝しています。雨季の真っ只中で雨も続いている状況でしたが、現地に着くと青空に天候が変わり、楽しく過ごせた事は子どもたちにも忘れられない思い出になったことでしょう。ツアーの皆さんがご支援の品々もたくさん届けて下さり、10月に丁度間に合った物もあり使わせて頂きました。ありがとうございました。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様のご支援を心から感謝いたします。ダバオの礎の石孤児院では、学校へ行きたいと切に願っている子どもたちのために働きを進めています。皆さまのご支援によって、ダバオだけでなく、マハヤハイ、スワン、スモーキーマウンテンの子どもたちが学校へ行く事が出来ています。皆様のご支援を心から感謝致します。礎の石孤児院の働きは、ここフィリピンの恵まれない子どもたちにとって、大きな助けとなっています。教師や看護師、医師やエンジニアになりたいという夢を持っている子どもたちに、教育を受けることを通して夢をかなえることが出来るという希望を与えています。10/11～10/16 礎の石孤児院の木原副理事長がフィリピン孤児院を訪問され、私たちはとても励まされました。木原副理事長はもし大学へ行きたい子どもを後押しする場合は、支援をアピールしていきたいとおっしゃって下さいました。また日本の皆さんが



木原副理事長と子どもたち！

寄付して下さった衣類やおもちゃ、学用品などをフィリピン孤児院に届けて下さいました。本当に感謝いたします。どうかこれからも礎の石フィリピン孤児院の子どもたちへご支援をどうぞよろしくお願い致します。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に、ザンビア孤児院一同、心から感謝申し上げます。ザンビアはこれからが夏本番。毎日 40 度を越す気温が続いていますが、長い乾季で、孤児院の井戸の水が完全に枯れてしまいました。毎日の水の必要のため、一輪車で地域の井戸まで何往復もして水を汲みに行く状況が続いています。更に 30m 程井戸を掘り下げることが出来れば、一年中、十分な水を確保することができますが、そのための費用が、あと約 10 万円ほど不足しています。どうか、皆様の、御支援をお願い致します。先日、アメリカの、あるスポーツ選手から、10 万足の新しい靴がザンビアに寄付されました。私たちの孤児院も、贈呈先として選ばれ、孤児院学校の生徒数人が代表して受け取るために、首都ルサ

カにやって来ました。贈呈式には、歴代の二人のファーストレディーも出席され、子供たちの足を洗って、靴を履かせてくださいました。子供たちの中には、感動して泣き出す子も…国を背負った二人の女性たちのへりくだった姿に、とても学んだ一日でした。最後に、私個人のことになりますが、出産のために、10 月より一時帰国することになりました。皆様にお会い出来ることを楽しみにしています！



靴を履かせてもらっているこどもたち！

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様の尊いご支援とご協力をありがとうございます。ついこの間までカラカラに乾いていた空気も、最近雨は順調に降って、潤ってきています。ブラジルで児童養護施設を開設するために必要なことを調べて、8 人の役員が必要だと分かっ

たので、地域の方々に働きかけるきっかけとなるように、NPO 礎の石孤児院の紹介文を日本語をポルトガル語で書いたものを何部か用意しました。私が今住んでいる家の大家さんにお渡ししましたが、とても好意的に協力してくださっています。お友達の何人かに見せてくださっているということです。さらに子供たちの働きに関心を持つ方々との出会いが与えられて、お渡しできるようにと願っています。



生徒の M 君が撮ってくれました！

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>